

○西除川ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削・堤防嵩上げ等による洪水対策を実施します。西除川放水路、三津屋川、落堀川、大水川、平尾小川では、現状で当面の目標を達成しており、西除川の狭山池ダムより下流では時間雨量80ミリ程度の降雨、西除川の狭山池ダムより上流、東除川、狭間川では時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



●被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度
- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

①情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
- ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府】
- ・ホットラインの運用(洪水・土砂)【府、市】
- ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(広域タイムライン)(洪水)【府・市・民間】
- ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(市域タイムライン)(洪水・土砂)【市】
- ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(コミュニティタイムライン)(洪水・土砂)【市】
- ・水害危険性の周知促進【府】
- ・ICTを活用した洪水情報・土砂災害情報の提供【府・気象台】
- ・隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等【府・市】
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施(洪水・土砂災害)【府、市】
- ・システムを活用した情報共有【府、市】
- ・市町村舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【府、市】
- ・市町村舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電機等の整備)【市】
- ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等【府、市】
- ・浸水被害軽減地区の指定【府、市】
- ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市】
- ・施設管理の高度化の検討【府】
- ・水防関係者間での連携、協力に関する検討【市】

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等

- ・水害ハザードマップの改良、周知、活用(洪水・土砂)【府、市】
- ・浸水実績等の周知【府、市】
- ・災害リスクの現地表示【市】
- ・防災教育の推進【府、市】
- ・地区単位土砂災害ハザードマップの作成促進【府、市】
- ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)【府、市】
- ・水防訓練の充実【府・市】

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、河道掘削【府】
- ・貯留施設整備等【府、大阪狭山市、松原市】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市・民間】
- ・既存貯留施設の治水活用【府・市】
- ・砂防施設の保全【府】
- ・河道内堆積土砂の撤去
- ・下水道等排水施設の整備【府、堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市】
- ・治山施設・森林の整備及び保全

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※下水道は市町村ごとに対象降雨が異なります。

大和川水系西除川ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本最古の狭山池ダム周辺を守る流域治水の推進～

- I 西除川ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 市街地の水災害発生を未然に防ぐため、河道改修を実施。
 - 【中期】 河道改修の推進およびため池の治水活用の検討、老朽化護岸の更新。
 - 【中長期】 1/100確率降雨（西除川下流）1/30確率降雨（西除川上流・東除川）に対して浸水を発生させない対策とため池の治水活用を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	落堀川、西除川、東除川の河道改修・耐水型整備	大阪府	落堀川(概成) 西橋上流～中橋上流	西除川(概成) 草沢橋～天野橋 改進橋上流～南海高野線 東除川(概成) 新高鷺橋～新伊勢橋 菅生橋～福井橋	西除川 天野橋上流～上条橋
	ため池及び農業用施設の治水活用	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市、民間	調査・検討		
	狭間川河川改修事業(緊自償)	堺市			定期点検による継続監視の実施及び堆積状況に応じ適宜除去実施
	河道内の堆積土砂除去	大阪府			
	老朽化護岸の更新	大阪府	東除川第1期(概成)		東除川第2期(概成)
	雨水ポンプ場整備・管きよ整備	大阪府、堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府、富田林市、河内長野市、羽曳野市、大阪狭山市、堺市			
	土地利用誘導(立地適正化計画)	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成等	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市、民間、気象台	洪水浸水想定区域指定 拡大完了(R6年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定等	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市、民間、		雨水出水浸水想定区域図 作成・公表(R7年度)	

大和川水系西除川ブロック 流域治水プロジェクト【事業効果の見える化】

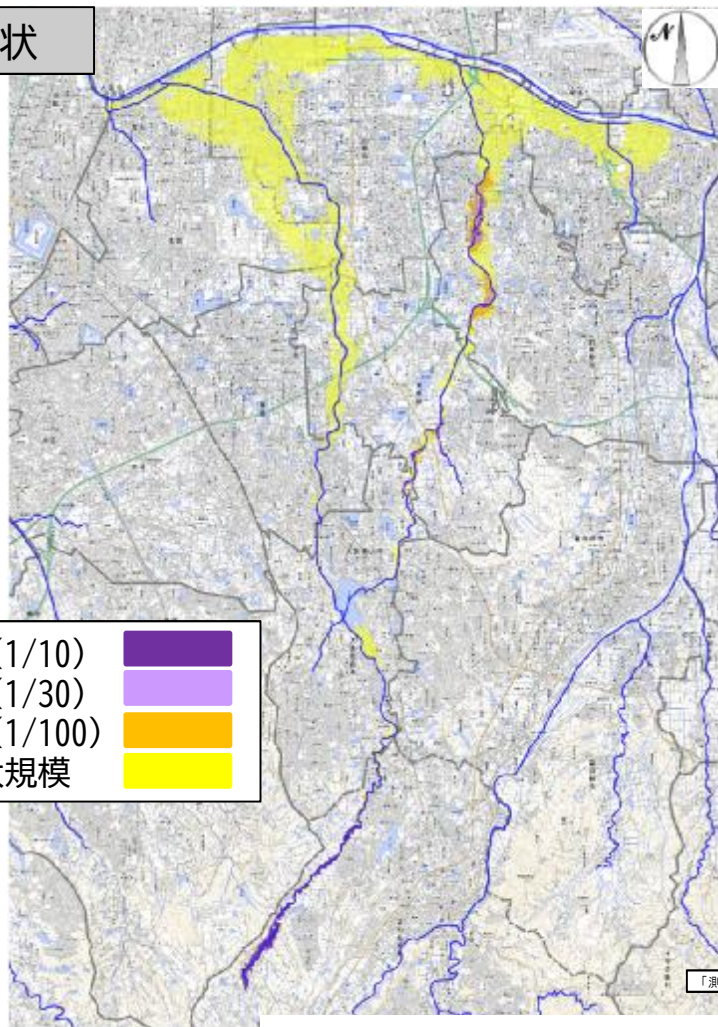
～日本最古の狭山池ダム周辺を守る流域治水の推進～

河川整備等による効果

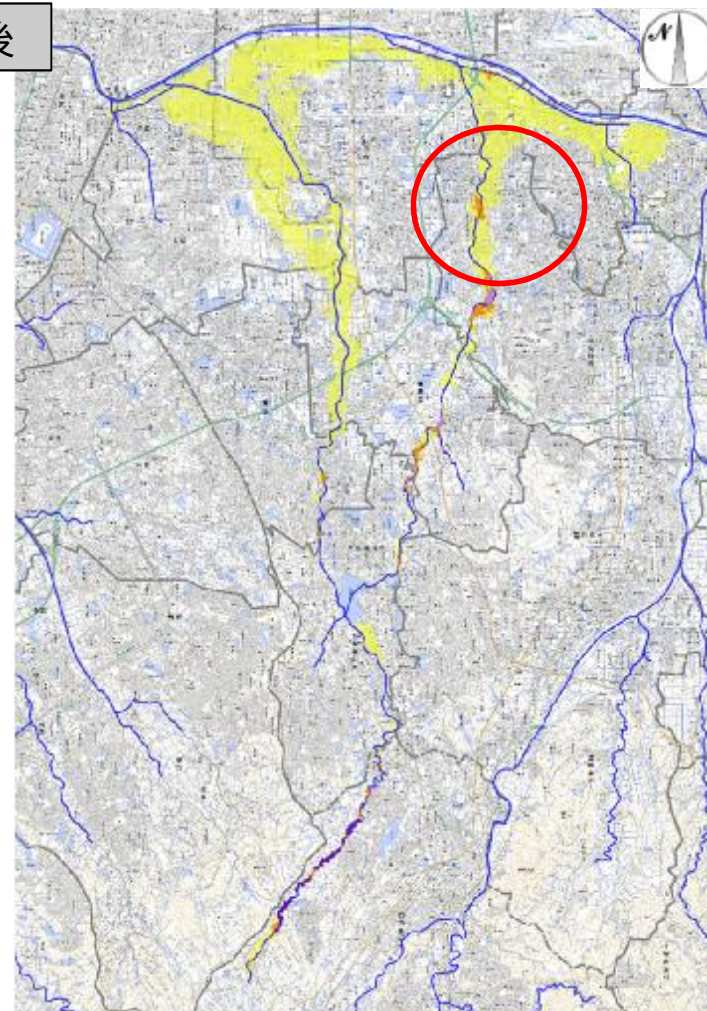
西除川：河道改修及び耐水型整備（ダム上流）により、時間雨量80ミリ（1/100）程度の降雨に対し、家屋床上浸水を解消





東除川：河道改修により時間雨量80ミリ（1/100）程度の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

現状



整備後



高頻度 (1/10) 
中頻度 (1/30) 
低頻度 (1/100) 
想定最大規模 

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 703」

※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H31）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

当面の治水目標に対応した河川の整備



※現在精査中
(令和4年度末時点)

農地・農業用施設の活用



※現在精査中
(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



※現在精査中
(令和4年度末時点)

山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



※現在精査中
(令和4年度実施)

立地適正化計画における防災指針の作成



※現在精査中
(令和4年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域 5河川
雨水出水
浸水想定区域 2団体
(令和4年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 149施設
土砂 1施設
高潮 -
(令和4年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

狭山池ダムの事前放流



狭山池ダムは治水容量100万m³の洪水調整機能を持っているが、事前放流を行うことで46万m³の洪水調整機能の追加をすることができる。



被害対象を減少させるための対策

堺市の立地適正化計画の取組

災害リスクのあるエリアや産業集積地が形成されているなど、居住の誘導に適していない区域については居住誘導区域に含めない。

また、現状で人口密度が低く産業系土地利用や緑地空間がまとまっているなど、土地利用の状況に応じた区域を設定している。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

コミュニティタイムライン作成の取組

大阪狭山市では令和4年12月に大阪狭山市全地域7小学校区の市民が一堂に会し、勉強会を実施するとともにワークショップを行った。ここで得られた知識を基に各町会でのコミュニティタイムラインの作成を進めていく。



講演会の様子

ワークショップの様子

